

松江市出雲玉作資料館

資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行

〒699-0201 松江市玉湯町玉造 99-3

開館時間 9時～17時 (入館は 16:30 まで)

休館日；月曜日・休日の翌日 TEL・FAX (0852) 62-1040



■11月8日(土)花仙山メノウ探検実施

花仙山メノウ探検はどうやら全国区となり、東は神奈川、西は下関、他に京都、近くでは鳥取、岡山、山口と県

外からも参加申込みがありました。定員オーバーとなり沢山の方の申込みをお断りせざるをえず、大変申し訳ありませんでした。来年度も実施予定ですので、早めのお申込みをお待ちします。

■11月13日(木)玉湯学園3年生「玉湯のすてき」発見79人来館



「勾玉の歴史や焼き物の素晴らしさ、大昔に玉湯で先人が勾玉を作っていたことなど、お話や施設、跡地の見学によってよりイメージをふくらませることができました。本物を見聞できた子どもたちは、自分の住む玉湯のことをいっそう誇りに感じたようです。」とお礼のお手紙をいただきました。



■11月15日(土)共生社会実践研究：島根大学教育学部社会科教育専攻生18人来館

長谷川先生の引率のもと、地域に密着した資料館がどのような活動をしているのかを知り、社会教育機関の現状を学ぶことを目的に来館されました。全国に勾玉を供給した玉作跡などの史跡・遺跡の見学を通して、旧出雲国意宇郡地域を題材に、歴史のとらえ方を学ばれました。

■今月の一品 作品名：金彩馬酒盃 制作者：久谷焼（中村秋塘しゅうとう） 制作年代：不明



中村秋塘は金彩、染付、三彩など細密な文様や図柄を手書きで描き、絵柄も雲龍文、馬文、鳳凰、松竹梅、花鳥文など多彩な意匠の酒器や杯を多く製作した作家です。初代の中村秋塘は明治～大正時代において活躍し、赤絵や金彩を駆使した酒器や盃で知られています。現在は5代中村秋塘が「秋塘陶園」「螢窯」の工房で酒器や茶道具などを製作しています。

この作品の製作年代ははつきりしませんが、灰色がかかった釉薬と底部付近の白い渦巻状のこんもりとした釉薬、見込みにある金彩の細かな馬の描写と口縁部の稻妻状の金彩が馴染んで、バランスがとれた作品になっています。 ◆受付横に展示しています。

*「今月の一品」は今回で連載終了とさせていただきますが、新年度からはまた新しい企画で皆様に楽しんでいただけるものを考えています。こうご期待下さい！

■12月のロビー展

無料

出雲玉作資料館友の会主催

栗原 哲朗 かずらで創る花かご 展

11月2日（日）～12月24日（水）

■11月30日（日）かずらで創る花かご作りワークショップ実施 延べ10人参加



栗原さんから作る手順を学びます。



黙々と作成。

分からぬ所は栗原さんに助けて頂きながら、それぞれ個性ある作品の出来上がりです！

■【休館日のお知らせ】

12/8(月)12/15(月)12/22(月)*年末・年始 12/28(日)～1/5(月) 1月6日(火)より開館

* 1月号の資料館だよりは休刊させて頂きます。

(1月ロビー展もお休みです。2月は湯町保育園作品予定です。) 来年もよろしくお願い致します